

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4	2	選択
担当教員			
植田 一夫			
火3			
添付ファイル			

科目の概要	学生の実験を出発点に、生活指導の歴史を概観し、生徒指導と生活指導の違いは何かを考察しながら生活指導の本質とは何かに迫りたい。その生活指導とはどのように実践されてきたのかを実践を読み合いながら、学力問題、身体問題、暴力、いじめ、不登校、学級崩壊など現代の生活指導の諸問題に応える生活指導の原則を明らかにする。合わせて生活指導の問題とかわらせながら進路指導に関するも論ずる。
授業の内容	<p>第1回 オリエンテーション 授業の概要説明、班づくり、今までに経験してきた生徒指導・生活指導とはどんなものか</p> <p>第2回 生活指導の系譜（1） 自分たちの経験してきた生徒指導・生活指導をもとにしながら、それがどこに源流をもつものなのか、戦前を中心に検討する。</p> <p>第3回 生活指導の系譜（2） 第2回に続いて、生徒指導・生活指導の源流を戦後を中心に検討する。</p> <p>第4回 生活指導と生徒指導 今までの授業を踏まえて、生徒指導と生活指導とどこが違うのかを明らかにし、自分の体験と重ね合わせる。</p> <p>第5回 学級自治と生活向上（1）班 生活指導が大切にしてきた集団づくりの基礎単位としての班の役割を体験的に明らかにする</p> <p>第6回 学級自治と生活向上（2）仕事・行事 生活指導が大切にしてきた集団づくりの活動論としての仕事・行事の役割を明らかにする</p> <p>第7回 学級自治と生活向上（3）授業 授業が生活指導に果たす役割について考察する。</p> <p>第8回 実践検討「問題群としての子ども」と生活指導（1） 学級で課題をもつ子をどのように指導するか実践を読み合いながら検討する。</p> <p>第9回 実践検討「問題群としての子ども」と生活指導（2） 学級でいじめ問題にどのように取り組むか実践を読み合いながら検討する。</p> <p>第10回 実践検討「問題群としての子ども」と生活指導（3） 学級で起こるトラブルをどのように解決するか実践を読み合いながら検討する。</p> <p>第11回 生活指導の実践的視点（1） 「生活を指導する」のか「生活に指導されるのか」を考察する。</p> <p>第12回 生活指導の実践的視点（2） 「働きかけるものが働きかけられる」ということについて考察する。</p> <p>第13回 生活指導と進路指導（1） 進路について自分が持っている不安・悩みなどを出し合う中で進路指導の課題をつかむ。</p> <p>第14回 生活指導と進路指導（2） つかんだ課題をもとに生活指導の考え方を参照してあるべき進路指導のあり方を検討する。</p> <p>第15回 生活指導と進路指導（3）/まとめ 今までの学習のまとめを行い、残された課題について検討する。</p>
学習到達目標	生活指導の様々な考え方を理解するとともに、実践検討を通して生活指導並びに進路指導の基本的考え方と実践的視点を身につける。
授業の方法	講義をもとにして、学習感想などに表れた学生の意識・疑問・意見を大切にしながら、班をベースにして討論的な授業にも取り組む。
成績評価の方法	平常点（40%）と実践検討で取り上げた事例から一つ選んでレポートする（60%）
教科書・テキスト	テキストは使用しない、随時資料を配布する
参考書	「新しい時代の生活指導」 山本敏朗・藤井啓之・高橋英児・福田敦志著 有斐閣 2014年
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	毎回の授業の復習を行うとともに、授業中に指示した参考文献は購読しておくこと。
履修上の留意事項	
オフィスアワー	金曜日13:00～14:30

担当教員への連絡 方法	研究室：1号館3階306 メールアドレス：ka-ueda@osaka-aoyama.ac.jp
その他	